

紙バンド「エコクラフト教室」を開催しました



2月26日(水)に富来支所内のシルバー人材センターで紙バンドでカゴ作りが行われ、9名の会員と非会員が参加しました。事務局の女性3名が先生となりカゴを作りました。

初めてのレクリエーション行事で、戸惑いながらも楽しく進みました。



シルバー女性会員初の100人突破

生きがいづくりへ交流の場



教室で作る紙バンドを使ったバッグを手にする職員
＝志賀町シルバー人材センター

志賀町シルバー人材センターの女性会員が今年度、初めて100人を突破した。町は仕事だけでなく、生きがいづくりの場としてセンターを活用してもらいたいと考えて、26日に初めてバッグ作り教室を開く。今後は男性を含めた会員の

趣味や特技を生かしたサークル活動への広がりを期待している。センターによると、女性会員は2015年度、58人だったが、手作りのチラシで呼び掛けるなど地道な活動を積み重ねてきた。今年度からはチラシに地区ごと

の求人情報を載せ、昨年12月末時点で男性154人（前年比101.3%）、女性103人（同110.8%）が登録している。山本政人事務局長は「交流の場を設けることで、さらに入会が増えたらうれしい」と話した。

人口減少が課題の志賀町で、高齢者の生き生きとした活動が目立っている。町シルバー人材センターの女性会員数が今年度、過去最高となり、町老人クラブ連合会は結成15年目の節目に会報の発行を始める。交流人口の拡大に力を入れる町の取り組みにも追い風となりそうだ。

志賀の高齢者生き生き

老人クラブ連合会 初の会報発行

初めて発行する会報
＝志賀町富来活性化センター



結成15年目、会員の励みに

創刊号は町広報と一緒に全世帯に届くようにする。町社会福祉協議会と8人の広報編集委員が会報づくりを担当し、今後は9月と3月の年2回、老人クラブの会員に配布する。干場昌明会長は「先輩方の努力によって、今日を迎えられている。会報を見て、会員ももっと増えてくれたらうれしい」と話した。

志賀町老人クラブ連合会は3月1日付で初の会報を発行する。町内には現在、40の老人クラブに60歳から100歳超の約3190人が所属しており、会報が会員の活動の励みになればと期待している。会報はA4判4ページ、創刊号は国や県から表彰を受けた団体・個人を紹介したほか、小学生との交流や研修旅行、女性委員会の活動などを写真とともに振り返るコーナーが設けられた。今後は各クラブの様子を順番に掲載する予定である。

令和2年2月26日の新聞記事です。

会員さんの協力のおかげもあり、女性会員が100人を超えました。過去最高となりました。ありがとうございます。

レクリエーションを通して会員さんの楽しみと会員増員につながればうれしいと思います。

今後も機会があれば開催したいと思っております。

他のレクリエーションの要望もあれば聞かせてください。

「エコクラフト教室」の参加者の皆さん、ありがとうございました。

これからも、職員一丸となって頑張りますので、よろしく願います。

